

エトピリカの概要

1. 分類

- ・ チドリ目ウミスズメ科 エトピリカ
(学名 *Lunda cirrhata*)
- ・ 絶滅危惧 I A 類 (環境省レッドリスト 2012)

2. 形態的特徴及び生物学的特性

- ・ 成熟個体で全長 39cm
- ・ 島や海岸の崖上部の土中に巣穴を掘り、集団で営巣。繁殖活動は5～8月
- ・ 潜水してイカナゴなどの魚類や小型イカ類、オキアミ類を食べる



3. 分布状況

- ・ 北太平洋の亜寒帯海域に広く分布
- ・ 国内ではかつて道東の島々で繁殖。1970年代に入って激減し、現在は根室市ユルリ島とモユルリ島のみで繁殖が確認されている

4. 現在の生息個体数

- ・ 平成28年度の生息確認数はユルリ・モユルリ島で最大7羽、繁殖つがい数はユルリ島・モユルリ島で4つがい程度と推定された (環境省調査)
- ・ 世界の総個体数は350万羽 (del Hoyo et al. 1996) とされている

5. 生息を脅かす要因

- ・ 成鳥の死亡原因として流網、底刺網への混獲が大きいと考えられる
- ・ 根室市ユルリ島とモユルリ島では、1970年代にドブネズミが侵入し、ネズミの胃内容から鳥類をはじめ、植生にも大きな影響を与えていることが判明
- ・ 地球温暖化との関係が指摘される海水温の変化も要因の1つと考えられる

6. 保護増殖事業の概要及びその効果

- 平成5年 国内希少野生動植物種指定
- 平成13年 保護増殖事業計画(環境省)の策定
- 平成20年 浜中小島のエトピリカが最後の繁殖
- 平成25年 国指定ユルリ・モユルリ鳥獣保護区保全事業を実施(平成25～28年度)

(現在の取組)

- ・ 国指定ユルリ・モユルリ鳥獣保護区保全事業により、両島においてドブネズミの根絶を目指したヘリによる薬剤散布を実施し、平成28年度時点で根絶した可能性

が高いと判断

- ・ 海鳥混獲防止のため、浜中漁協と連携して海域巡視等を実施
- ・ 浜中町ピリカ岩周辺及び浜中小島周辺で繁殖地維持形成のため陸上及び海上デコイを設置

7. 他法令による保護の状況

- ・ 昭和57年 ユルリ島、モユルリ島の全域を国指定ユルリ・モユルリ鳥獣保護区に指定

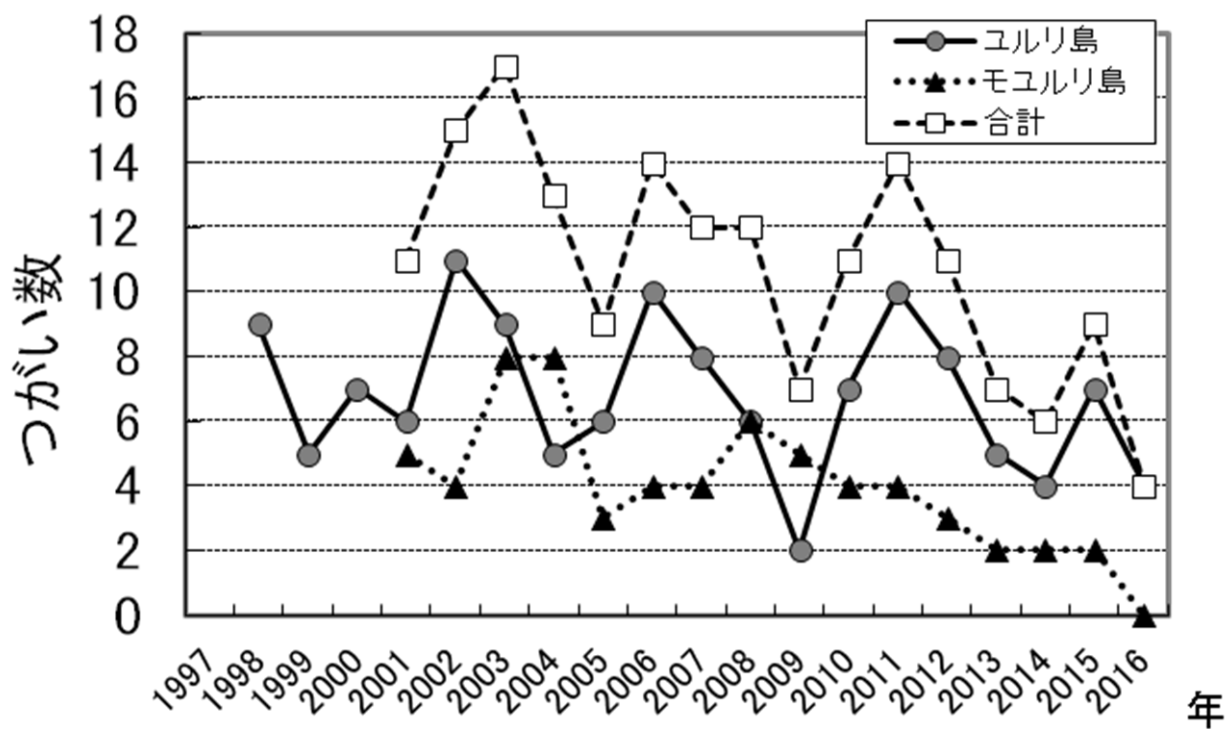


図. 近年のユルリ島とモユルリ島における繁殖成功つがい数の年次比較